

News Release

2018年3月27日

AeroEdge株式会社への資本参加について

株式会社福岡キャピタルパートナーズ（以下、弊社）が運営するナイン・ステーツ・4投資事業有限責任組合（以下、NS4）は、航空機エンジン用部品の製造・販売メーカーであるAeroEdge株式会社（本社：栃木県足利市、代表取締役：森西淳、以下、AeroEdge）が実施する第三者割当増資により発行する株式を引き受けましたのでお知らせします。

今回の第三者割当増資はNS4を含む計6社を引受先とした総額約22億円で、世界の航空機需要拡大を背景とした航空機エンジン部品の生産需要増加にAeroEdgeが対応するため、生産体制をより強固にし、グローバル市場でのプレゼンス確立・向上を目指すものです。

1. 日本の航空機産業を取り巻く環境

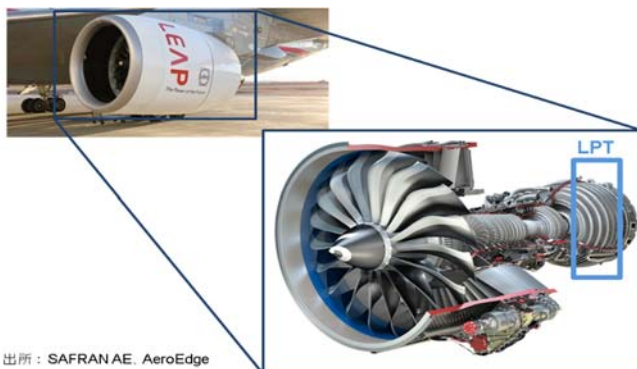
世界の民間航空機市場は、新興国の旺盛な顧客需要や貨物輸送の増加などから、年率5%で成長しています。これにともない、航空機需要も年々増加する傾向にあり、今後20年間で約2倍の伸びが見込まれています。1機300万点ともいわれる部品から組み立てられる航空機は、航空機完成メーカーとエンジン完成メーカーの2つを頂点に、膨大なサプライヤーが世界中に存在していますが、このような市場拡大にあわせ、新規サプライヤーの参入が相次いでいます。（日本航空機開発協会調べ）

日系メーカーは、機体構造（胴体や主翼など）やエンジンを中心に一定のプレゼンスを示しています。日本国内でも、今後成長が見込まれる航空機産業への新規参入が期待されているところです。

2. AeroEdgeとは

AeroEdgeは歯車メーカーである菊地歯車株式会社の航空宇宙事業から開始し、2015年に分社化された航空機エンジン用部品の製造・販売メーカーで、近年、新素材として注目されている各種難削材（チタンアルミなど）の加工とその工程設計のノウハウを強みとしています。チタンアルミは軽量・高硬度であり、航空分野に限らず用途が拡大していますが、超難削材であるため、世界で切削できるメーカーは限られています。また、厳しい品質管理基準の確立・維持が求められる航空機業界の中でAeroEdgeは開発～製造～品質保証まで一貫して請け負える体制を整えています。

AeroEdgeは、大手航空機エンジンメーカーであるSafran Aircraft Engines(フランス)と長期受給契約を締結し、新型民間航空機エンジン「LEAP*」に搭載されるチタンアルミ製の低圧タービン(LPT)ブレードを製造しています。この「LEAP」への搭載を皮切りに、グローバルな事業展開に取り組んでいます。



* 中型機向け次世代航空機エンジン「LEAP」
新型航空機A320neo(エアバス社製)、
B737MAX(ボーイング社製)、
C919(中国商用飛機製)に搭載のエンジン

《 本件に関するお問合せ先 》

福岡キャピタルパートナーズ 投資事業部 担当 松本

TEL 092-291-8123

News Release

3. 出資の背景・意図

弊社は、地域貢献を旗印として、これまで多くの九州内外の地域中堅・中小企業を支援して参りました。この度、AeroEdge社が持つ世界基準の技術力と人材に着目し、拡大が見込まれる航空機業界の中でAeroEdge社の更なる成長を支援するため、本投資を決定いたしました。弊社は、本投資を通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

■ AeroEdge株式会社の概要

| | |
|--------|--|
| 社名 | AeroEdge株式会社 (英文名 AeroEdge Co., Ltd.) |
| 本社所在地 | 栃木県足利市寺岡町482-6 |
| 設立年月日 | 2015年9月16日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 森西淳 |
| 資本金 | 3,000万円 |
| 社員数 | 74名 (2017年10月1日時点) |
| 事業内容 | 航空機部品の製造、および販売 |
| 認証取得規格 | JIS Q 9100 : 2009 ISO9001 : 2008 ISO14001 : 2004 |

《 本件に関するお問合せ先 》
福岡キャピタルパートナーズ 投資事業部 担当 松本
TEL 092 - 291 - 8123